

佐藤 仰るとおりです。既に佐賀県診療情報地域連携システム「ピカピカリンク」という、患者さんの同意のもとで連携機関がカルテを共有できるシステムがありますが、県内と県外の一部周辺機関での利用に限られます。マイナ保険証であれば日本全国で共有できるので、患者さんと医療従事者の双方にとって良いですね。これらを併用すれば、より良い医療の提供につながると思います。

開院に向けて今年の抱負

佐藤 ええ。上手に活用すれば、丁寧な説明を伴う診療や親切な窓口対応なども当然のものにできると思います。前任地ではがんの患者会に医師として参加していましたが、それぞれの不安な思いを十分に伺ったうえで話していると、非常に落ち着かれるんです。やはり、じっくりと傾聴できるゆとりは持っておきたいと思いましたね。良い対応を受けて「また行こう」と思っていたことが適切な治療や定期的な健康チェックには大切なので、そうした工夫もしっかりと行いたいと思います。

市長 そうですね。公立佐賀中央病院は他の病院との連携の核となる大きな役割もあります。スムーズな診療を助ける良い仕組みだと思います。今後、全国的にも人手不足も課題になる恐れがあり、DXの効果はもはや欠かせないものですね。

市長 佐藤先生とお話ししていると、考え方が呼応しているなとも感じます。佐藤先生と多久市、小城市が心を一つにし、より良い医療の提供をめざしてさまざまなチャレンジしていくつもりです。已年の本年は、努力が実る年になると易学的にはいわれています。そのためにも粘り強い努力は不可欠です。開院まであと半年余り。これまでの取り組みが多くの人に健康な暮らしと人生をもたらすことができるよう、日々新たに、着実に整備していきます。本日はありがとうございました。

新病院の診療科目(予定)

多久市立病院と小城市民病院にある既存の診療科に加え、新たな診療科を設置します。

既存の診療科

- ・内科
- ・呼吸器内科
- ・消化器内科
- ・循環器内科
- ・肝臓内科
- ・腎臓内科(透析)
- ・糖尿病内科
- ・神経内科
- ・リウマチ科
- ・リハビリテーション科
- ・小児科
- ・外科
- ・整形外科
- ・耳鼻咽喉科
- ・皮膚科
- ・産婦人科
- ・脳神経外科
- ・泌尿器科

新設する診療科

- ・眼科
- ・外来化学療法室

付帯事業

- ・訪問看護ステーション
- ・健診センター



(令和7年7月開院予定)



(令和6年12月2日現在)

建設中の様子 /

多久小城医療組合 顧問 佐藤 清治

前佐賀県医療センター好生館 館長。佐賀県医師会常任理事。佐賀県で生まれ育ち、佐賀医科大学(現:佐賀大学医学部)で外科の道へと進んだ。専門は消化器外科。尊敬する人物は元多久市立病院 院長の原田貞美氏。